

コミュニケーションニュース

Communication News

近畿大学校友会 東京支部会報

第10-1号

発行日

平成22年8月10日

支部長／宮川正博 編集・文責／広報委員会 連絡先／〒132-0021 東京都江戸川区中央2-31-10-404 (株) 正栄設備 TEL.03(3674)2472 FAX.03(3674)2486

近畿大学校友会東京支部講演会定期総会のご案内

日 時 平成22年9月18日（土）

場 所 JR四ツ谷駅 麻町口前 主婦会館プラザエフ
千代田区六番町15（7階カトレア）
TEL／03-3265-8111

講演会 時 間 午後2時半 受付開始
午後3時開催

講演題 野鳥も人も地球のなかま

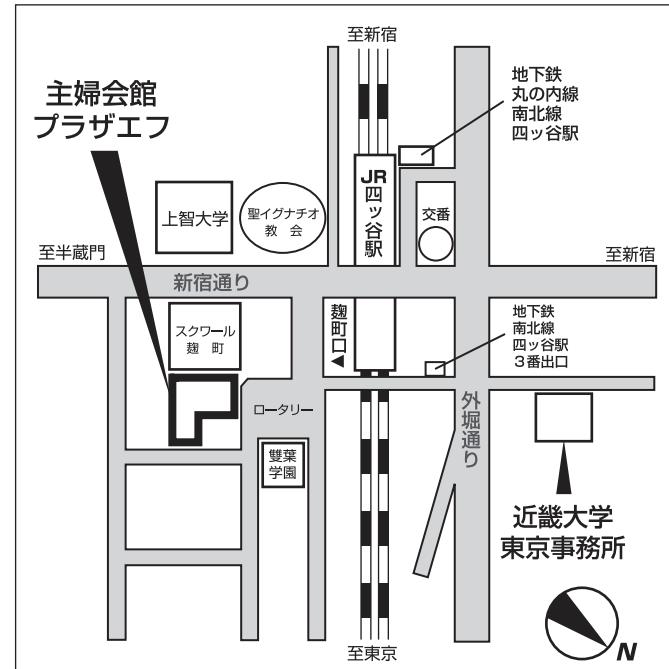
講 師 財団法人 日本野鳥の会 理事・事務局長
飯塚 利一様

会 場 主婦会館プラザエフ 4F シャトレ

総 会 時 間 午後5時半受付
午後6時～午後9時

会 場 主婦会館プラザエフ 7F カトレア

ゲスト 財団法人 日本野鳥の会 理事 飯塚 利一様
高砂親方、伊勢ヶ濱親方、若松親方、
誉富士、宝富士



平成22年近畿大学校友会東京支部定期総会に寄せて



近畿大学校友会東京支部支部長 宮川 正博

校友会東京支部の皆様におかれましては、益々ご健勝にて、ご活躍のことと拝察いたします。
ところで今年の夏のビックイベントといえば、やはり「ワールドカップ」と答える人が多いと思います。
大会前は、全く盛り上がりらず、日本代表チームは厳しい批判にさらされていたのに、予選リーグ初戦でカ梅ルーンを破ったとたん、世間のムードが一変、大変な盛り上がりとなりました。国内の政治、
経済が停滞をつけ、何に期待すればいいか迷う中、若い選手たちの姿に、再び「元気な日本」へ再生できる活力を見いだし、勇気づけられたひとコマでした。
我々東京支部も若い校友の参加を切に願っております、その為にも今後多くの勉強会並びにイベントを推進していこうと思っております。

秋のゴルフ大会及びちゃんこ会の案内

催しは次のようにになっています、皆様の参加をお待ち申しあげます。

① 伊勢ヶ濱部屋ちゃんこ会

期 日：平成22年9月9日（木）
場 所：伊勢ヶ濱部屋
費 用：6,000円（女性 4,000円）

② 伊勢ヶ濱部屋チャリティコンペ

期 日：平成22年9月28日（火）
場 所：ヌーベルGC
費 用：約 20,000円

③ 第62回一木ゴルフコンペ

期 日：平成22年10月14日（木）
場 所：真名CC（茂原市）こぶしコース 9:12 (5組)
費 用：18,000円

連絡先 幹事 上手 TEL: 047-430-1782 中谷 TEL: 090-6175-4397

参加の場合催し名をご連絡ください。

能楽・狂言の舞台裏

上田 彰一郎 (S47年商経学部商学科卒)

1.能楽・狂言との付き合い

大学のクラブで、はじめて能楽に触れました。その時代は学生運動が盛んであった頃です。クラブでは謡と舞のお稽古のほかに何か囃子（太鼓か小鼓）を演奏したことがあります。昭和47年に大学を卒業してからは、能楽を職業としてやってみようとは思いませんでした。近年、会社も定年となり、自由な時間がもてるようになったこともあります。もちろんと考古学が趣味で埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会（略称：県博友の会）に入会しました。県博友の会とは、埼玉県下の史跡や古墳を見て回る見学ツアーや大学の先生にお願いして講師となってもらい、歴史文化に関する講座や講演会を開催する等、各種イベントを活発に行っている団体のことです。

2.「能楽・狂言」舞台裏の経緯

昨年10月頃、に県博物館友の会の理事・ボーター会議で、県博友の会が今後のイベントとして計画していた、「博物館からキックオフ事業「ワークショップ～五人囃子と語る～」」のプロジェクトが、花王・コミュニケーション・ミュージアム・プログラム2009/埼玉けんぱくフレンドの助成対象に選出されたとの報告がありました。早速、県博友の会会长よりこのプロジェクトを推進してもらいたいとの話があり、県博と友の会（全員参画）の共催ということで、今回のプロジェクトを進めることになりました。もちろん花王から助成金が支払われます。

3.プロジェクトの運営費

能・狂言の演技は、能舞台で演じられています。今回プロジェクトの企画、製作のシナリオでは、能と囃子の演奏はプロの演技者に出演を依頼することになりました。そのため、

花王からの助成金はプロの演技者の出演料でほとんど費やされております。今回のプロジェクトでの大道具、小道具の製作及び印刷等の費用も限られ、県博友の会からの拠出金も必要となりました。

4.プロジェクトの進め方

プロジェクトの企画では、埼玉県民の方々に日本の古典演劇である能・狂言や音楽、美術、建築などあらゆる芸術に触れてもらうことが大事であるという考えをもっております。五人囃子をキーワードとして、桃の節句に公演を合わせ、雛壇飾りを県博物館の正面玄関のホールにシンボル展示し、3月7日(日)には県博物館の講堂にてミニ能楽鑑賞と実技の体験のワークショップを開催することになりました。なお、貴重な文化財である雛壇飾りの展示と収納実演には、岩槻人形協同組合・(株)東玉のご協力を得ております。

5.プロジェクトの実施

(1) コンセプト

○地域社会（新生、さいたま市）の今を見つめる眼、暮らしの中に博物館がある実態から形成される心の豊かさへの気づき・共感
○岩槻区の地域産業である「人形」→「雛人形」

○博物館のある大宮公演は埼玉初の都市公園→武蔵一宮氷川神社

○氷川神社の薪能→新たな地域文化の創造
○博物館の使命→公共空間の提供＆つなぎ手→キーワード→5人囃子

(2) 5つの事業展開

○雛壇飾り・雛人形展示（博物館・友の会）

○きく・見る・ふれる 五人ばやし能楽部門

日 時 平成22年3月7日 (日)

午前10時30分～午後3時

場 所 埼玉県立歴史と民俗の博物館
(講堂)

○「五人囃子による能楽入門」

5月 8月 の2回開催

【1回目】

日 時 平成22年5月16日 (日)

午後1時30分～午後3時

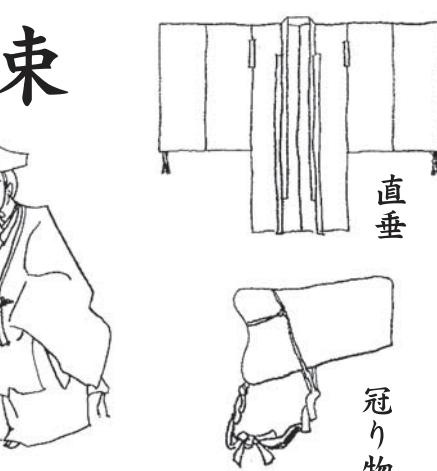
場 所 埼玉県立歴史と民俗の博物館
(講堂)

【2回目】予定

日 時 平成22年9月5日 (日)

午後1時30分～午後3時

場 所 埼玉県立歴史と民俗の博物館
(講堂)



展示室などの一隅に雛人形を展示し、館内を歴史空間街かどめぐりに見立ててのクイズラリーを実施。竹林をバックの雛壇飾り、雛人形の今昔の比較展示、シンボル展示ステージの雛壇飾りなど（2月16日～4月16日）。4月18・19日は収納実演。

○ワークショップのステージ製作作業

5人囃子のワークショップに必要なステージ（舞台）、背景等の製作を友の会メンバーを中心に参加者を募り、共同作業で実施する。ワークショップスタッフのコアメンバー形成の役割を担う。（11月17・18・19日の3日間）

○ワークショップの開催

雛人形の歴史、雛人形の段飾りの主な構成要素である「5人囃子」の由来や役割、能楽の基礎知識やトリビアについて学ぶワークショップ「耳のワークショップ」と「眼のワークショップ」の2部構成。3月7日。

6.プロジェクトの進捗状況

○ステージ（能舞台）・背景等の製作

（11月19日：サイコロ製作済背景等製作は1月中に完成）

製 作 県博物館・友の会

○印刷物

解説パンフレット 期限：8月下旬

作 成 県博物館・友の会

7.雛人形の展示と能舞台オープニング公演

一木会講演会について

7月1日（木）近畿大学四ッ谷事務所にて



参加者 校友 21名他 3名

講 師 東京女子医科大学

先端生命医科学研究所 特任講師

医学博士 田中 祐次 先生

監 修 2010年6月21日初版

上手に“痛い”が言える本（発行所？小学館）

演 題 『医者と患者の関わりかた』

内 容 医者とのコミュニケーションについて

患者中心の医療について

これからは患者参画の医療について

など大変参考になる講演でした。

今後このような一木会を企画・開催し校友の親睦を図ります。

22年度定期総会（9月18日土曜日・於：四谷 主婦会館）では（財）日本野鳥の会 理事・事務局長 飯塚 利一様をお招きし、『野鳥も人も地球のなかま』の講演を行います。

校友はじめ皆様多数のご参加をお待ちしております。

昭和49年商経学部経済学科卒 近森 英文

近畿大学交友会静岡県支部定期総会に参加して



平成22年7月24日（土）東京駅で来日中の韓国支部の季鐘浩幹事と待ち合わせ新幹線で静岡へ向かいました。東京支部からは田中参与（40機械卒）、保田幹事（H6通法卒）と宮川、又梅友会東京都支部より吉川支部長、佐久間副支部長の5名が参加しました。

総会には亀岡校友会会长、白韓国支部長、原田愛知県支部長と多くの来賓の方々が出席され静謐の中にも楽しい総会、懇親会を過ごすことが出来ました。来年の定期総会にはぜひ「交歓ゴルフ大会を開催していただきたい」と杉村支部長にお願いして静岡を後にしました。

昭和46年工卒 宮川 正博

高砂部屋チャンコに参加しました



去る6月4日（木）に恒例の高砂相撲部屋のちゃんこ会が開催されました。

会は30名ほどの参加をいただき、いつもよりにぎやかになりました。

親方の風呂上りの登場から、始まり、途中、成田先輩（40年商卒）の奥様が、先輩の替わりに参加されたり、友人である歌手の畠山みどりさんが、一緒に出席され「はっけよい」の歌を熱唱していただき、にぎやかさに拍車をかけました。

畠山さんはもう69歳になられたようです。ダイエットで失敗し、リバウンドで膝を痛めおり、親方と同じように、ビールのケースに腰をかけておりました。

もう500曲近くを歌っており、また最近ではレコードは時代の進歩で、1枚も売れないようです。しかし、しゃべりは芸能人です、にぎやかで「派手」でした。

相撲などの集まりで、前相談役の18番の、相撲甚句を歌われるのですが、今日は、「のど」の調子が悪いといいながら、2曲を歌っておりました。いつも、忘れず、歌詞を準備しているのには、感心いたします。

成田先輩は、相撲部出身で、いつも大相撲東京場所で『砂かぶり』で観戦されており、元気な様子をテレビで、拝見しております。

昭和38年機械卒 上手 峰幸

平成22年一木会夏合宿便り

平成22年7月22日(木)、23日(金)於:千葉夷隅ゴルフクラブ

今年の合宿は、7月22、23日で、昨年同様、初日が千葉夷隅ゴルフクラブ、2日目が米原ゴルフ倶楽部で、両日ともに3組のコンペで優勝を競い合いました。今年も両ゴルフ場の社長でもあります平尾先輩のお世話になり、大変ありがとうございました。

当日の参加者は、柏松戸船橋組は、上手先輩の車で、3人(田中先輩、渡辺さん、富田)が同乗し、木更津東ICから千葉県夷隅郡大喜多町の千葉夷隅ゴルフクラブに到着。前相談役、宮川支部長夫妻は、東京から到着。松本賢一先輩は、久し振りの参加、佐久間さんは昨年に引き続き参加、そして両ゴルフ場の社長の平尾先輩、当日ゲストの佐倉カントリークラブのキャディマスター増田さん(上手先輩のゴルフ場からの視察)の合計11名でした。

初日の成績は、優勝松本先輩Gross84
HDCP10.8 Net 73.2、準優勝富田Gross100
HDCP26.4 Net 73.6、ベスグロは、増田さんの83でした。当日は、朝から快晴でお昼にはコース内は40度近くになっていたと思われます。参加者は、スポーツドリンク、お茶などを頻

繁に飲んでいました。私も2Lのスポーツドリンクを飲み切りましたが、キャディさんからの麦茶もとても美味しく飲み、キャディさんにお礼申し上げます。

初日の夕方、千葉夷隅ゴルフクラブから米原ゴルフ倶楽部移動し、コンペルームに直行し、早速成績発表を行い、洋食コースの夕食会のスタートとなりました。当日のゴルフ談義に花が咲き2時間ほどで終了しました。部屋は、年長者と若手組みに別れ、若手組みの部屋で、引き続き二次会が始まりました。こちらには、オードブルが用意されていました。二次会では、昔の話に盛り上がり、焼酎とワインがなくなったり23時過ぎに解散となりました。二次会の参加者が少なかったためオードブルが半分以上残ってしまい、レストラン側には大変申し訳ありませんでした。

2日目は、森澤先輩が参加し、当日も11名の三組でした(増田さんは初日のみ参加)。当日早朝の6時過ぎに地震(震源地は、茨城)がありましたが、全く問題がありませんでした。2日目の成績は、優勝前先輩 Gross85

HDCP10.8 Net 74.2、準優勝上手先輩 Gross97 HDCP22.8 Net 74.2、ベスグロは、前先輩の85でした。2日間ともにGross80台は、前先輩だけでさすがと思いました。今回のルールの新ペリアは、HDCP制限なし、スコアカットなしで行いましたが、やはり優勝は、Gross上位者が獲得いたしました。紅一点参加の宮川支部長の奥様厚子さんの後半10番でのドラコンは、おめでとうございました。見事でした。

今年の2日間の夏合宿は、梅雨明けの猛暑となりました。ほとんどの人の2日目のスコアが悪くなりましたが、そのなかでも前先輩は、初日から4打縮め実力者と言えます。暑さにも勝ち、体力も充実していたということになります。当方は、初日の暴飲暴食がたたり、2日目は、アイアンショットが全く不調で100を超えてしまい、反省点ばかりのゴルフ合宿でした。来年は、今後練習を重ね頑張りたいと思います。

富田 久夫
(昭和48年 理工学部原子炉工学科卒)



ぎょかいやグループ『この道35年』がご提供!!

築地 魚蟹家

浅草「雷門通り」沿い

03-5830-3355

丁111-0032 東京都台東区浅草1-7-1

営業時間: 11:30~22:30 [年中無休]

香林坊 鮮魚と蟹料理

下根岸 香林坊

「下根岸」バス停前

03-5604-0038

丁116-0014 東京都荒川区東日暮里3-9-12

営業時間: ランチ 11:30~14:00 ディナー17:00~22:30

40名様迄◆お料理3,000円から◆飲み放題有り

<http://www.co57.jp>

代表 今津 久雄 (昭和48年 農学部食品学科卒)